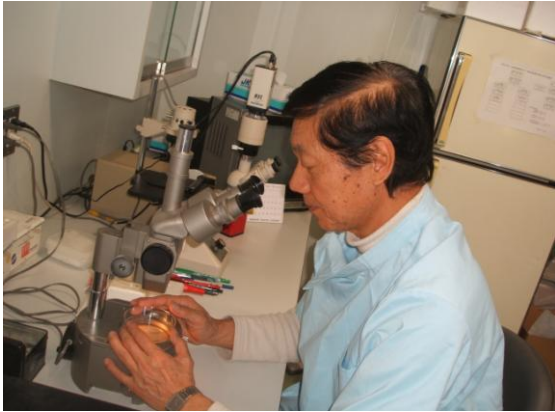


ユーザー紹介 北海道農業開発公社十勝育成牧場 ～大樹町

皆さん、こんにちは！ 北海道(道東)担当の植田 秋良^{うえだ あきら}です。
さて、今回のユーザー紹介は、大樹町で乳牛育成・受精卵移植・黒毛和牛事業を展開されておられる北海道農業開発公社十勝育成牧場さんです。



農場の概要

労働力は、職員 9 名（臨職含む）、実習生 2 名

総面積 523.9ha

（採草地211.6ha、放牧地230.9ha、その他81.4ha）

飼養頭数は、乳牛育成牛 1,000 頭、和牛繁殖 50 頭（一貫）

※乳牛育成牛を購入し、ET 又は AI により妊娠させ、初任牛として販売している。和牛は、優良な繁殖牛の採卵、妊娠牛の販売、肥育出荷など行っている。

現在、北海道農業開発公社十勝育成牧場さんでは和牛の子牛・育成にアースジェネターを愛用して 3 年半が経ちます。始めたきっかけは、発育促進が目的でしたが、今ではいろいろな変化を実感されています。

変化したところ

1. 子牛（哺育中）の下痢が著しく減少した

生後できるだけ早くから口に直接給与したり、濃厚飼料を食べるようになってからは濃厚飼料給与直前に給与するなど、確実に摂取できる工夫をされています。

2. 離乳後の発育が良くなった

全体的に個体の落ち込み（バラツキ）が減少した。増体の良い牛は更に良くなり、増体の悪い牛もそれなりに発育するようになったとのことです。

3. 事故（死亡率）が減少した

上記の 1 と 2 の結果、事故が減少したとの事です。



以上とりとめなく紹介しましたがアースジェネターによる変化などお分かり頂けたでしょうか？
北海道農業開発公社十勝育成牧場さん、どうもありがとうございました！ 今後ともご活躍を期待しております！！